

清友

No. 57

2014年5月



府中市浅間山公園の
ムサシノキスゲ

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4F

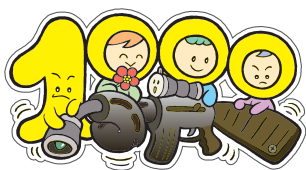
TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

憲法を破壊する 「集団的自衛権の行使」容認反対 戦争をさせない全国署名

これまでどれほどの戦争が「自衛のため」という大義名分の下に行われてきたのでしょうか。安倍政権は憲法で禁じている「集団的自衛権の行使容認」を閣議決定しようとしています。安倍の狙いは「アメリカと一緒に戦争をできる国」を目指すことです。自衛隊が海外で市民を巻き添えにして人を殺し、若い自衛隊員が死に、除隊後は心を病むという姿が目に見えます。孫がそうなるのです。

日本の憲法には二度と戦争をしない決意が込められています。戦争をする国をめざすあらゆる策動を許さないため、「戦争をさせない1000人委員会」が結成され、「戦争をさせない全国署名」をはじめました。全国の自治体

退職者会が一齐にこの署名を取り組んでいます。みなさんのご協力をお願いします。



戦争をさせない 決意を新たに



鎌田 慧さん 小室 等さん 雨宮処凜さん 佐高 信さん

5月3日の憲法記念日、平和フォーラム主催の「憲法記念日集会」は日本教育会館で開かれ、約700人が参加しました。

超党派の議員連盟「立憲フォーラム」近藤代表は「戦争は政治の失敗により起こる。」と指摘、「戦争をさせない1000人委員会」呼びかけ人から、雨宮処凜さん（作家）、鎌田慧さん（ルポライター）、小室等さん（フォークシンガー）、佐高信さん（評論家）がシンポ

憲法集会



ジウムに登壇、雨宮さんは「若い世代は非正規雇用が圧倒的で人権を実感できなくなっている」と示唆に富んだ指摘をし、小室さんは、フォーキングを通じて「戦争に突き進むような社会を作ってはならない」とアピールしました。

一方、市民や護憲政党が中心の「憲法集会」は日比谷公会堂で開かれ、3700人が参加。ジャーナリストの津田大介さんは安倍政権の危険な性格をあげ、憲法学者の青井未帆さんは「海外派兵された自衛隊員が棺に入って帰ってくることを受け入れられるのか。」と具体的に問いました。「今、私たちは歴史の重大な節目にいる」という緊張感を共有した集会でした。

第5回幹事会

メーデー、東京清掃ボウリング大会、定期総会準備と議案などを決定。旅行は11月の予定

4月22日に第5回幹事会を開催し、①メーデー、②東京清掃ボウリング大会、③第7回定期総会議案、④都庁退職親睦交流会、⑤秋の親睦旅行等を検討しました。

東京ドームボウル（表彰式等は清掃会館）で開催されます。例年同様、退職者会チーム（4名）も出場します。

定期総会議案

メーデーの取組み
今年も日比谷メーデー中心に取り組むことにしました。行動の様子は4面を参照。

都庁退職親睦交流会
都庁職員退職者連合会は毎年親睦交流会を開いています。

ボウリング大会

今年も5月31日に後楽園のボウリング大会を開催します。

今年もサクランボ狩りで6月9日に行われま

第7回定期総会

〈日時〉 5月22日(木)
午前10時受付
〈場所〉 清掃会館ホール

総会懇親会

〈日時〉 5月22日(木)
12時30分
(総会終了後)
〈場所〉 清掃会館ホール

※出欠連絡がまだの方は至急お願いします。不参加のかたは委任状（返信用ハガキに記載）を出してください。

秋の旅行

旅行先と日程の詰めを行ってあります。総会までには確定し発表したいと考えています。

退職者会活動日誌

＊3月20日の第10回三役会以降4月22日の第5回幹事会までの第5回幹事会まで
▼3月20日の第6回旅行部会で秋の親睦旅行基本計画案を検討。
▼3月20日、戦争をさせない1000人委員会が発案集が日比谷公園で開催され3名参加。
集会の模様は本紙4月号既報。
▼3月21日、会員の山崎精一さんが主催者の一人の中国広州労働研究交流報告会が明治大学で開催され2名参加。報告会の模様は本紙4月号既報。
▼4月8日のお花見ウォークに家族を含め25名参加。陽気もよく桜も美しく楽しい一日でした。
▼4月15日、都庁退職者会が都庁で開催され、幹事の庄司事務局長と岩淵会計監査が参加、主な議題は都庁退職親睦交流、学習会等の企画。
▼4月17日、自治退都本部幹事会が自治労働本部で開催され、庄司事務局長と小林事務局次長が参加、主な議題はメーデー等の取組み、組織財政検討、戦争をさせない全国署名の取組み。
▼定期総会へ向けて役員選考委員会を3月3日、4月2日、4月14日に開催。
▼4月22日、第11回三役会を開催し幹事会議案等を検討。三役全員参加。
▼同日、第5回幹事会で総会議案等を検討。幹事全員参加。
▼事務局会議・事務業務は4回。行事企画、機関紙・定例連絡等送付、お花見ウォーク準備等に対応。



役員選考委員会

今年の総会は人事総会です。何人かの役員が退任を希望したため、補充により新たな役員を選任することになります。

以前の総会等で「役員がどのようになっていますか」という趣旨の声があつたことを踏まえて、昨年、役員選考委員会の設置を決めました。選考委員は現・元会長と元委員長です。委員会は4回開かれました。その結果は総会で提案されます。



役員選考委員会の様子

お花見ウオーキング ポカポカ陽気の中、春を満喫

清掃退職者会恒例のお花見ウオークは、旧芝離宮・浜離宮庭園散策と隅田川クルーズ。

4月8日、浜松町駅に集合、旧芝離宮庭園へ。ボランティアガイドの詳しい説明を受けて約1時間、大名庭園の特徴を残す園内を散策、小さいながら想像以上の名園でした。

芝離宮から浜離宮庭園まで歩き、参加者に少々疲れが見られましたので、浜離宮庭園到着後早速お弁当タイム。浜離宮のハイライト潮入の池と中島の茶屋、八重桜を背景に



旧芝離宮庭園にてガイドの説明を聞く



浜離宮庭園 汐入の池にて



浅草 吾妻橋付近
よスカイツリー

ポカポカ陽気の中、車座になってランチしました。

お昼の後は桜をながめたり鴨場を見学したりしながら水上バス発着所へ、お花見ウオークの最後は隅田川クルーズ。浅草までの約1時間、隅田川にかかる橋やスカイツリー、川岸の桜並木を楽しみました。参加者は家族4名を含めて25名。二つの庭園では咲き誇る八重桜と陽気に恵まれ、隅田川からながめるスカイツリーに感激し、「最近のお花見ウオークでは最高」という感想も寄せられました。まさに春を満喫した一日でした。

医療法と介護保険法の改正案をセットで議論する「地域医療・介護総合確保推進法案」が今国会で審議されています。この法案の問題点は次のように整理できます。

(1) 医療と介護は表裏一体ではあるが、「性質の異なる分野の法改正をまとめて審議する」ことは国会論議の形骸化につながる。

(2) 医療法改正による「病床区分の変更」(一般病院である急性期病院を高度なものとそうでないものに区分けし、病床を再編)は、在宅医療・介護促進のため入院医療の短縮化が狙いだが、「患者難民」行き場のない患者」をさらに増やすことにつながる。

(3) 介護保険制度の要支援者対象の「予防給付」を市町村の「地域支援事業」に移行することは、サービスの地域間格差をうみ、要支援者の切捨てにつながる。

(4) 年金収入280万円以上の人への介護保険利用者の自己負担2割導入は、高齢者の可処分所得の減少傾向が続く中、介護サービス利用の手控えに作用し、結果的に重度者を増やし中長期的には財政の圧迫につながる。

地域医療・介護総合確保 促進法案の改善を求めて

(5) 特養入所の「中重度限定」は在宅医療・介護体制の整備拡充が必須条件であり、それが不十分ならば貧困ビジネスが高齢者を食い物にする危険性が高まる。

(6) 今回の法改正は在宅医療・介護の促進が狙いだが、介護保険労働者の雇用・労働条件改善等の対策が盛り込まれていないため机上の空論に終わり、地域格差を拡大する危険性が高い。

介護保険法改正は2000年の創設以来2度目の大改革です。自治体退職者会は、「地域医療・介護総合確保推進法案」の国会審議に対し、以上にみてきた問題点の解消等を求めて国会傍聴や議員への働きかけを強めています。





日比谷 メーデー

5月1日の日比谷メーデーは、前夜からの雨が上がり5月晴れのなか開催されました。集会発言では「労働法制の改悪・雇用破壊政策反対」と安倍政権の右傾化政策への批判が強調されました。

退職者会は今年も過去最大を更新し22名参加。東京清掃本部・女性部・青年部と同じ梯団で鍛冶橋まで行進しました。

しかし、全体の参加者は昨年より減少し7千名でした。この日、メトロの売店の非正規労働者がストを打ちました。非正規の組織化が課題です。



4月26日の中央メーデー式典に安倍首相が来賓として参加。古賀連合会長は「労働規制緩和反対」を表明しましたが、安倍は「賃上げは私がやった」と発言し、連合の意見を顧みない姿勢を示しました。これに対し会場からは「ふざけるな、派遣法改悪をやめろ」等の怒号が飛び交いました。



中央 メーデー

